

2023年3月

こんにちは。日本共産党です。きょうは、「しんぶん赤旗」のお勧めにまいります。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ

「しんぶん赤旗」です。日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「しんぶん赤旗」日曜版は、1カ月930円です。

●岸田政権の大軍拡は、「日本を守るため」ではありません。日本が攻撃されていなくても、米軍と自衛隊が一体になって、先制攻撃に踏み出す、つまり違法な戦争に参加するためです。二度と戦争をしないと誓った平和憲法を壊す大軍拡・大増税に、キツパリ反対の論陣をはる「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●自民党・公明党政権がすすめる大軍拡は、日本全土を報復攻撃の危険にさらします。その証拠に、全国の自衛隊基地は、司令部を地下化するなど、戦場になることを想定した工事を始めようとしています。「赤旗」のスクープで、この計画が明らかになりました。日本全土を戦場化する大軍拡、戦争への道を、力を合わせて止めましょう。

●東日本大震災から12年。福島原発事故は、いまだに収束せず、3万近い人たちが避難生活を強いられています。ところが岸

田政権は、原発推進にカジを切り、被災者支援の削減、原発汚染水の海洋放出など、被災者に背を向けています。「しんぶん赤旗」は、被災者の暮らしと生業（なりわい）の再建、原発ゼロをめざして報道します。ぜひ、お読みください。

※確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」の日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「しんぶん赤旗」日曜版は、1カ月930円です。

●賃金は上がらないのに、物価はどんどん上がり、暮らしが本当に大変です。日本共産党は、労働者の春闘と連帯し、大幅賃上げをめざします。大企業の内部留保に課税して賃上げに活用すること、消費税の緊急減税、インボイス中止、中小企業、農林漁業支援など、暮らしと経済を守る対策を求めています。暮らしを守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●ロシアは侵略をやめて撤退せよ、国際法を守れ、核兵器の脅しは許さない——この声を、大きくしていきましょう。紛争の平和的解決を定めた国連憲章を守れと、世界が一致して声をあげ、行動することが、ロシアによる侵略をやめさせる力です。反戦・平和を貫く「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●政府は、コロナをインフルエンザ並みの扱いにして、公的支援を減らす方針です。

医療体制を強化しないまま、患者と医療現場の負担を増やすのでは、命が守れません。

「しんぶん赤旗」は、科学と事実にもとづくコロナ報道で、国民の命を守るために全力をあげています。ぜひ、お読みください。

※くり返し

●高すぎる教育費が、家計を圧迫しています。「少子化対策」というなら、教育費負担を軽減し、子育て支援を抜本的に強めるべきです。学校給食無償化、子ども医療費の無料化、高等教育の無償化、大学入学金の廃止を実現しましょう。「しんぶん赤旗」は、子育て支援に全力をあげ、全国取り組みを報じています。ぜひ、お読みください。

●新入生、新社会人のみなさん。新しい環境のなかで、とまどうことも、あるのではないのでしょうか。「しんぶん赤旗」は、学び、働く人の権利を守り、人生を豊かにする新聞です。軍事優先で学問研究を歪めることや、人間を「モノ」扱いする非人間的な働きかたに反対。「政権に付度せず、本当のことを書いている」と評価されています。ぜひ、お読みください。

●愛する人が異性でも同性でも、平等に結婚の自由が保障されるべきではないでしょうか。いまや、同性婚に賛成する声は、日本国内でも多数です。岸田首相は、同性婚の法制化を決断すべきです。「しんぶん赤旗」

は、あらゆる人が尊厳をもって生きられるジェンダー平等社会をめざして報道します。ぜひ、お読みください。

※くり返し

●囲碁・将棋の「新人王戦」は、「しんぶん赤旗」が主催するプロ棋戦で、一流棋士への登竜門として注目されています。囲碁の芝野虎丸名人は、2017年の新人王、将棋の藤井聡太六冠は、2018年の新人王です。「赤旗」日刊紙は、新人王戦の熱戦譜を毎日掲載。日曜版でも、プロ棋士の解説をつけて毎週紹介しています。ぜひ、お読みください。

●日本共産党は、創立101年の新たな一歩を踏み出しています。反戦平和、国民が主人公の日本をめざし、戦前・戦後、不屈にたたかってきました。岸田政権の大軍拡・増税と正面から対決し、戦争の心配のないアジアをつくるために力をつくします。市民と野党の共闘を再構築し、憲法の理念が生きる新しい政治をつくります。希望ある未来を開く「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。